



# The Max Planck Center Seminar Series

**演者：吉田 松生 博士**

自然科学研究機構 基礎生物学研究所 生殖細胞研究部門 教授

**演題：「マウス精子形成を支える幹細胞のダイナミクスとその制御」**

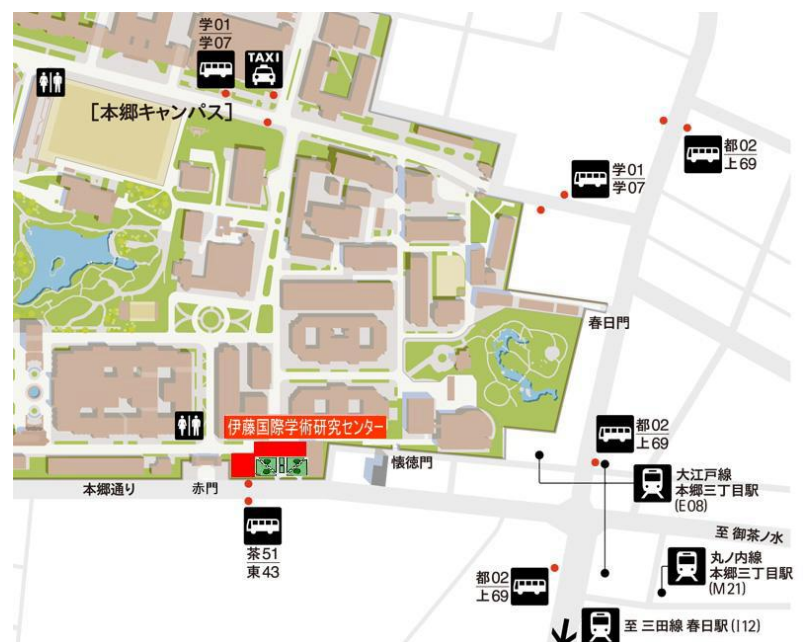
マウスの精巣では、日々多数の精子が作られている。では、どの細胞がどう挙動することで長期間継続する精子形成を支えているのか？

これを先入観なく明らかにするために、生体ライフイメージングやパルス標識によって時間を越えた細胞のふるまいを観測し、数理統計学的に解析した。その結果、非対称分裂を繰り返す厳密なイメージとは全く異なる、勝手気ままな細胞動態が見えて来た。組織を維持する「幹細胞」とは、いったいどういう存在なのだろうか？ 組織からどのような制御を受けているのだろうか？ 本セミナーでは、これらの問題を改めて考えたい。

1. Hara, K. et al., Mouse spermatogenic stem cells continually interconvert between equipotent singly isolated and syncytial states. **Cell Stem Cell** 14, 658-672 (2014).
2. Nakagawa, T. et al., Functional hierarchy and reversibility within the murine spermatogenic stem cell compartment. **Science** 328, 62-67 (2010).
3. Yoshida, S. et al., A vasculature-associated niche for undifferentiated spermatogonia in the mouse testis. **Science** 317, 1722-1726 (2007).

**日時：平成29年2月1日(水)**  
**午後17時00分～18時00分**

**場所：東京大学**  
**伊藤国際学術研究センター**  
**地下1F 第1ギャラリー**  
**〒113-0033 文京区本郷7-3-1**  
\* Seminar will be given in Japanese.



共催・連絡先

東京大学 大学院医学系研究科 社会連携講座リピドミクス  
清水孝雄 医学部名誉教授・特任教授

TEL: 03-5841-3540

tshimizu@m.u-tokyo.ac.jp